

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	792
		決裁期日	平成 24 年 1 月 27 日
名 称	上富良野町住生活基本計画策定委員会 第 4 回会議		
日 時	平成 24 年 1 月 27 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 34 分		
場 所	保健福祉総合センターかみん 2 階 研修室		
出席者	苫米地委員長他策定委員12名、事務局2名（別紙名簿のとおり） 委託調査会社2名		
内 容	<p>標記策定委員会の第 4 回会議を開催、その概要は次のとおり。</p> <p>1. 開会 生活環境班主幹から開会を宣言し、欠席の委員（2 人）を報告。</p> <p>2. 委員長挨拶 委員長： 皆様ご苦労様です。今日は第 4 回目で委員会の最終回となります。これから最終案の説明を聞きながら、成果あるものにしていきたいと思えます。上富良野に 4 回伺いして、四季の移り変わりを拝見させていただく中、上富良野町にはいろんな資源が豊富と感じました。今日、旭川から来ましたが、秋の上富良野と違って冬景色もきれいで印象的でした。しかし冬になると外から人が来ない感じがしますので、この素晴らしい情景をうりにして交流人口が絶えないようにこの基本計画が役立てればよいと思えます。</p> <p>3. 町長挨拶 町長： 住生活基本計画策定委員会の最終回の会議ということで、この間お世話になりましたことにお礼申し上げます。苫米地学長様には遠路よりお越しいただきご指導頂きましたことにお礼申し上げます。今回策定させていただく基本計画については、住生活のみならず上富良野の将来のあるべき姿をも内包していると理解しております。今後のこの基本計画を基に将来の上富良野のまちづくりを進めていくバイブルとして十分に活用していくことで、上富良野の将来がしっかり方向付けされていくと思えます。皆様の成果品をまちづくりに役立たせていくことを申し上げ、長きにわたり協議をいただきましたことに心から感謝しお礼のあいさつとします。 (町長退席)</p> <p>4. 議事 ・ 計画案についての報告、意見交換 資料（概要版）に基づき事務局から説明する。</p>		

委員長： 説明のあった概要版については町内の主要な施設でご覧いただけるということです。原案についても公表されるようお願いいたします。概要版は 4 つで構成され、原案は 8 つで構成されておりますが、既にご覧にいただいているうえで基本計画の骨格は了解いただけるでしょうか。了解いただけたようなので、次に意見交換を進めていきます。計画を中心的に進めていただく課長の皆さんから話を伺っていきます。この計画に関連する今後の取り組みについてお話をお願いします。

総務課長： 4 つの基本目標には住生活のみならず、まちの将来像の部分も書かれています。二重丸の多くは取り組まれている事業が書かれています。特に力を入れているのは人口が減少傾向にあるなかで、移住定住を意識しながら施策を展開しています。特に転出を少なくしていくよう定住施策として、生活支援、子育て支援を組み立てています。すぐには効果があらわれなくとも 5 年から 10 年のスパンで考えていきたいと思えます。

7 ページの地域色を生かした環境づくりの 3 の〇について、平成 22 年度から 3 カ年間程度をかけて、日の出公園を重点的に整備している最中にあり、見晴台公園も今年度で一定の方向性を示す予定ですので、二重丸に変更をお願いします。

建設水道課長： 最近は異常気象が増えています。今年の冬も集中的な豪雪に見舞われています。昨年の 6 月から 9 月は集中豪雨があり、水路や道路、農業施設に被害を受けました。このため災害に強いまちづくりを重点施策にしています。まちには多くの資源がありますので、産業の育成も可能で、定住移住につながっていくことも期待したいと思えます。公園整備は投資ではなく今ある資源の再発見として、町内の各公園を整備してきています。これも住環境を取り巻く一役を担っていくと思えます。

委員長： 自然災害のお話でしたが、十勝岳の防災も重要と思えます。

保健福祉課長： 現在、平成 24 年から 26 年度の介護保険第 5 期計画についてパブリックコメントを行っています。高齢者が増えている中、前期高齢者と後期高齢者が逆転し、後期高齢者が多い状況にあります。町としては健康づくりを中心にしており、結果として検診率が向上し、皆さんが健康で高齢期を迎えられる状況を進めています。これから 75 歳以上の後期高齢者の方が増えていくと、それまでと違い認知症の発生や夫婦の片方の他界による一人暮らしになるなど、暮らし方が変化していきます。東明住民会で取り組まれている児童から高齢者までの見守り活動などの推進が大切です。町としては緊急通報システムの整備を進めています。安心して暮らせる環境づくりとして、移動手段としての乗り合いタクシーは平成 24 年度から全町化が予定されています。公営住宅も高齢者が多くなってきていますので、建て替えにあたっては団地内にデイサービスやショートステイの利用できる施設の併設も検討していくよう関わっていききたいと思えます。

町民生活課長： 公営住宅の建て替えが喫緊の課題です。長期の使用に向けて計画的な修繕も進めていきます。少子高齢化の中、障害者、介護者も暮らせるバリアフリー化の改修も必要です。建て替え、営繕計画の策定には、各課と協議し、町民の意見も聞いて進めていきたいと思います。当課だけではなく、各課と連携を持って協議を密にしていきたいと思います。

委員長： 概要版の説明と町の方針について説明がありました。各委員から基本計画の案、説明について感想も含めてご意見をお伺いします。

委員： このように整理することで今後何をやるべきかが見えてきたと感じました。現状の取り組みについて説明があり理解できました。この内容をいかに町民にアピールしていけるか、とても重要と思います。お話を聞くとわかるので、文書の発信だけでなく口頭や防災無線など、アピールの方法を考えてほしいと思います。住民の方も情報を得ると安心できるし、そうなっているとわかれば町民もこうしようなどと、そちらの方向になっていければ一番良いと思います。

委員長： 町民へのアピールはどのようにお考えですか。

町民生活課長： 冊子は町民ホールなどへの配布、広報への掲載を進め、住民に周知していきと思います。

委員長： このような方法がいいという意見があれば町民生活課にお願いします。

委員： 公営住宅は古く老朽化は6割を超えています。今までと同じ建て替えペースでは、住民の要望もありますから、財政が許すのであれば建て替えを早くしていければよいと思います。町民の要望に応じてほしいと思います。

町民生活課長： 建て替え計画は喫緊の課題であり、どのようにしていくかは福祉サイドとも協議しながら、修繕も含めて、国の交付金、町の財政も見ながら建て替え計画を進めていきたいと思います。

委員： 原案については良いと思います。平成24年度以降の見直しはどのように進め決定していくのですか。

生活環境班主幹： 庁内の政策調整会議、課長会議に諮りながら、議会にも報告していきます。

委員長： 見直し時には、そのことを町民に伝える工夫をお願いします。

委員： 国の助成金を有効に活用され、二重丸の中でも優先順位を付けて検討し進めてほしいと思います。町民へのアピールは住民会長懇談会などで情報を提供してはどうですか。住民会長から町内会長、町民へと情報が下りてくると思います。

委員長： 概要版の重点を1ページ位にして情報提供することも一つと思います。多くの町民に見てもらおう工夫をお願いします。

委員： 概要版は良くできていると思いますし、高齢者問題についてもわかるようになってきました。東明住民会地区は約800人で高齢化は26%位です。

65歳以上が多く、普段は自宅にいる人が多いです。公園の管理は住民会管理に変わり、管理を始めてから住民の利用が増えていると思います。地域のことは地域で行うことを基本に地域で守っていくことが大事です。この基本計画は、住民会長や各種団体に情報提供して、町も実行してほしいと思います。

委員長： まちの取り組みの成功例を整理し、それもお知らせしながら、施策に生かしてほしいと思います。

委員： 財政が苦しい中において効率的な事業推進が重要です。定住化の推進として、成人式に100人ほどが参加していました。その人たちに残ってもらえるまちづくりが大切で、簡単ではありませんが、若い世代が残れるような住みやすいまちづくりが課題と思います。

委員長： 若者の定住化にこの計画が役立てればと思います。

委員： この施策が実行できれば素晴らしいと思います。若い世代がこの町にいかに残ってもらえるか、他に出ていかなくてもよいように、中間層の定住化が大切と思います。それには就業の場所が課題であり、確保をお願いします。

委員長： まちの取り組みはどうか。

総務課長： 雇用対策は重要です。その一つとして、町長自ら企業訪問し、トップセールスを行っています。上富良野町は知名度があり、企業の進出は可能性があります。職員の保養地として、旭川空港も近いことも利点です。可能性はあると思いますので、長期の課題として進めていきたいと思います。

委員長： 企業誘致だけではなく、基幹産業である農業とリンクできるものが良いと思います。そのような成功例は全国に沢山あります。農業をどうしていくかです。本州からは素材は良いと言われますので、その次です。

委員： 計画の方向性は良いと思います。高齢化社会は避けて通れません。上富良野は自衛隊がありますので、場合によっては高齢化が進むと思います。この案は市街地中心の案ととらえています。農村部においては農家世帯と非農家世帯が逆転し、農家世帯の方が少なくなっています。農村部でも高齢者の生活に障害が発生し、市街地に住み替えたい希望があります。このことの整備も課題であり、将来的に農村部においても安心して住めないことがあります。農村部でもコミュニケーションが不足しています。ファックスがあり集まる機会が少なくなったため、隣のことが分からない状況で、都会と同じになってきています。農村部の住み替え希望の把握をするなどの施策を進めてほしいと思います。

委員長： 日本全体で同じ課題を抱えている町村が多くあり、中心部に移住してもらおう事例もあります。高齢者が安心して生活できるように、このようなことも含めて計画を進めてほしいと思います。

5. 事務連絡

事務局： 12月の広報誌を通じてパブリックコメントを行いました。書面で

の意見はありませんでした。この間、色々な機会で見聞をお聞きしていますので、パブコメとしてはありませんでしたが、これからの中で活かしていきたいと思います。また、住民への周知も考えていきたいと思っています。

委員長： この計画が実行されることを期待します。町民への伝達については、町民に理解してもらうことが重要なので、知恵を絞って発信してほしいと思います。

これで意見交換を終わります。

町民生活課長から委員会の終了にあたり挨拶を行う。

生活環境班主幹： 以上で委員会を終了します。

5. 閉会

終了： 午後 2 時 34 分